

スカウトみやぎ

2018 / 7 . 1
No.47

特集：私にとってボーイスカウトとは
日韓スカウト交歓計画参加記



そなえよつねに
ボーイスカウト



17th NIPPON SCOUT JAMBOREE
会場：石川・珠洲 りふれっしゅ村跡ヶ崎
石川・珠洲 りふれっしゅ村跡ヶ崎



平成30年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会を挙げていただきますことを大変喜ばしく思います。ご参会の皆様には、宮城県のスカウト運動の普及・発展のため、日頃ご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

また、本日、表彰の栄に浴されます皆様には、献身的にスカウト運動を支えて頂いておりますことに心から敬意を表します。本県に甚大な被害をもたらした東日本大震災から7年が経過しましたが、今後は次世代を見据えた復興を進めていかなければなりません。知事として行政を担う立場からも、国や市町村はもとより企業や団体、NPOなど多くの皆様と心をひとつにして震災からの創造的な復興と県土の発展のため、今後も力を尽くしてまいります。

さて、今年8月に石川県珠洲市で第17回日本スカウトジャンボリーが開催されます。その参加に向けて指導者とスカウトが「そなえよつねに」の姿勢をもち、意義のある活動を継続していくことが大切です。

また、来年度は県連盟創設70年を迎えることとなります。これまでの歴史と伝統を踏まえ、未来に向けたスカウト活動を展開することが求められます。「活動的で自立したスカウトを育てよう」という県連盟のスローガンのもと、ボーイスカウトの独自の活動のほか「セーフ・フロム・ハーム」の本格実施を始め、「安全フォーラム」や「防災キャラバン」の開催等への指導者としての参加などは、地域社会と共に活動する新たな取り組みとして大変意義あるものと思います。

指導者の皆様には、宮城の復興を担い日本の未来を切り拓き、心身共にたくましい青少年の育成に、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。そして、今年度も「スカウト活動を活性化し、楽しく仲間作りを広げる」という目標のもと、各団・各隊による活動が一層充実し、一人でも多くの青少年が仲間として加わることを期待しております。

県連盟表彰

【精励スカウト】

隼スカウト： 斎藤伸阿（仙台第1団） 千葉陽介（仙台第1団）

菊スカウト： 橋本怜旺（石巻第6団） 佐藤龍馬（仙台第1団）

新井彩子（仙台第1団）

【感謝状】 山田節子（仙台スカウトクラブ）

【有功賞】 米澤 敦（白石第1団） 金山 瞳（仙台第27団）

早川巳代子（仙台第1団） 桑原 茂（塩釜第1団）

山川俊浩（泉第1団） 加藤光厳（石巻第6団）

足利由美子（村田第1団）

宮城県教育委員会

教育長 高橋 仁

平成30年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会の開催にあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

皆様には日頃から次代を担う青少年教育活動に、ご尽力を頂いておりますことに心から敬意を表します。

また、これまでのスカウト運動の功績に対し、表彰を受けられました皆様にお祝いを申し上げます。

さて、社会の急激な変化に伴い青少年を取り巻く環境は年々複雑化しております。このような社会の変化に主体的に対応していく力、すなわち「生きる力」を身につけさせるためには、生活体験、社会体験、自然体験等の体験活動の機会を豊かにすることが極めて重要であります。

このような中、大自然の中で年齢の異なる青少年が仲間同士で互いに助け合い、励まし合い、冒険的で楽しい野外活動を行いながら、奉仕活動に励むスカウト教育をとおして、自らを成長させていくというスカウト運動の理念や重要性はますます高まっております。県教育委員会としましては「第2期宮城県教育振興計画」のもとに、「心身ともに健やかな人づくり」をめざし「志教育」を推進しているほか、県立自然の家における「青少年長期自然体験活動」、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害発生時の主体的な対応を学ぶ「防災キャンプ推進事業」の実施など、体験をとおした青少年育成事業の充実に取り組んでいます。

県連盟におかれましては、「セーフ・フロム・ハーム」の本格実施をはじめ「安全促進フォーラム」・「防災キャラバン」の開催や8月に石川県で開催される日本ジャンボリーの準備訓練など、変革・充実の年として活動すると伺っております。例年行っている活動と併せて様々な大会においてスカウトに体験を積み重ねていくことは、青少年の健全育成を進めるうえで大きな役割を果たすものであると考えます。

皆様には県連盟の輝かしい歴史と伝統のもとに、社会の変化に主体的に対応できる資質と能力を備え、たくましく思いやりがある、活力に満ちた青少年を育成するために今後ともご尽力くださいますようお願い申し上げます。結びに世界スカウト運動と宮城県連盟の益々のご発展を祈念し祝辞といたします。





私にとってボーイスカウトとは人生の進み方について学べる場所だと思います。なぜかという、ボーイスカウトに入団して5年が経ちその中で様々な事を発見したこと、学んで来たことについて書きます。

1つは、ボーイスカウトのモットーである「そなえよつねに」についてです。ボーイスカウトに入りたての時は、この意味をよく考えませんでした。ボーイスカウトについて分かってくるとこの言葉について、よく考えてみようと思いました。それは「これから起こることを予測

し、その解決策を考え実行する」という意味だと思いました。そして、それはボーイスカウト活動の中だけでなく普段の日常生活の中でも様々な場面で必要になってくるものだと思います。

2つは人のまとめ方です。ボーイ隊に上がって1年間班長をやり、とても班員の管理が難しいことを知りました。

最初は班員が一人だけだったので、ひとりの仕事の負担が大きいなど問題点がありました。次の年では班員が増え、役割りに戸惑い何もしていない人がいる状態などを作ってしまうなど失敗もありました。

しかし、それを改善するため人をどうやったら効率的に動かせるのかを考え、班員に何かを任せる時にはそれが得意な子だけにやらせているとその子が飽きたりして効率が悪くなったり、ほかの子がそこだけ伸びなかったりします。得意な人ややりたい人でなく、私が指名し失敗したら改善点について教えるなど解決策を考えました。



以上この2つのことから、私はボーイスカウト活動は日常生活にも役立つことを知り、それをする大切さやそれをする事で自分の知らないこともさらに挑戦出来ることを学びました。

日韓スカウト交歓計画 に参加して

仙台第1団ベンチャースカウト隊 上田さくら

平成30年1月6日から8日まで、福岡県宗像市のグローバルアリーナで開催された日韓スカウト交歓に参加しました。

この交流プログラムでは、緊張を解きほぐすためのゲーム「アイスブレイク」・日韓スカウトが合同チームでスカウト技術向上の対戦をする「野外活動」・日本と韓国それぞれで出し物をし合う「文化交流会」そして、交流会の感想や今後の抱負を話す「福岡スカウトフェスティバル」がありました。

この交流会に参加して、韓国スカウトの人達はとても明るくて、優しい人だとわかりました。言葉の壁はありましたが、韓国語で「眼鏡」を「アンギョン」ということを教えてもらったり、カレー作りでなかなか火が点かず悪戦苦闘したり、トラブルを一緒に経験する事ができとても楽しかったです。そして、韓国の人達は日本のことを好ましく思っていることを知り嬉しくなりました。

これからは、韓国のスカウトと仲良くできたことで、世界にいるスカウトやいろんな人達に会って話してみたいと思いました。世界では日本に良い感情を持っていない人もいますが、今回の交流会で得た「互いを尊敬し合う」ということを忘れずに親睦を深めたいです。

そのために英語の勉強も頑張りたいです。



17NSJ 宮城第2隊、第1回訓練キャンプを実施しております!!
絶好の天候で初めてボーイ隊のキャンプに参加しているスカウトも含め楽しく過ごしています。

開会セレモニー、班編成発表、班集体会、設営、火起こしゲーム、野外炊事、キャンプファイヤー、GB会議を無事に終えることが出来ました。スカウトたちはこの宮城県連盟東部地区で宮城第2隊としての編成班の仲間たちともあっという間に仲良くしています。このまま良い雰囲気でも明日もジャンボリー本番も臨めそうです。



(東部地区FBから転載 4月29日大崎市学童農園)

「全力挑戦」 17NSJ 宮城第3隊 派遣隊長 佐藤早苗

去る5月3日から5日まで、松島自然の家において、宮城第3隊の準備訓練キャンプが行われた。

宮城第3隊は石巻地区と仙南地区、それに県北地区、3地区合同隊である。1班から4班までいずれも3地区のスカウトの混合班を作った。



4月に一度顔を合わせただけのスカウト達は、5月3日緊張した面持ちで集合してきた。それなのに自然は容赦ない。雨、風、そして真冬が戻ってきたのかと思うほどの寒さ。まさに訓練キャンプとなった。

しかし、1日目、2日目とプログラムを進めるうちに、班としてのまとまりが出来てきた。楽しいだけじゃない、試練を共に乗り越えたからこそその団結力。宮城第3隊のスローガンは「全力挑戦」、常に挑戦し続けるスカウトであってほしい。



東部地区主催パインウッドダービー開催

平成30年3月25日に、陸上自衛隊 多賀城駐屯地体育館にてパインウッドダービーを開催しました。パインウッドダービーは5年前にBSA極東支部様より、東日本大震災で被災した東部地区の子供たちのために、高価な、レーン一式および運営のノウハウを頂いたことから始まりました。

昨年開催の仙台地区も今回参加いただいたこともあり、当日は約160名の関係者が来場し、車のエントリーは79台になりました。

松の木のブロックを削って磨いてペイントしたものに、付属のタイヤを釘で打ち付けるだけのものですが、子供たちは思い入れたくさんの素敵な車を作ってくれました！どの車も見ているだけでワクワクします。

午前中と午後の走行でのベストタイムで、ビーバー・うさぎ・しか・くま・一般の部門ごとに競い合いました。昼休みにはデザイン賞も投票しました。入賞したスカウトも入賞出来なかったスカウトも、このレースに向けた頑張りにエールを送りたいです。

なお、当日の最高タイムを出したのは、熱が入りすぎた大人たちのタイムも跳ね除けた、うさぎスカウトでした。レース後には仙台地区の指導者の方により、多く集まったスカウト全員参加のゲームを行いました。こちらもちょうどレースに負けないくらいの盛り上がりとなりました。

今回のパインウッドダービーのためにご協力いただいた方々には感謝いたします。これからもこのような活動を通して、たくさんのスカウトと交流が出来ればと思います。



県連だより

平成30年度

第1回スカウトセミナー開催

6月10日、県連事務所がある多賀城分庁舎2階会議室にて今年度初めてのスカウトセミナー（ボーイスカウト講習会）が開催されました。参加者は保護者や隊指導者、ローバースカウトを含めて19名。主任講師は鈴木美恵子日本連盟副リーダートレーナーが務めました。天候はあいにくの雨でしたが、参加者はボーイスカウト運動の概要

や方法などを学び、ボーイスカウト部門のハイキングやゲームも体験しました。今年度はあと2回開催する予定（12月9日と3月10日）となっており、会場は集まりやすい多賀城分庁舎です。ボーイスカウトを知る良い機会ですので、皆様のご参加よろしくお願い致します。



ボーイスカウト募集中



保護者の皆様へ

なろう。一人前に。一人前って意外とむずかしい。
 自分のことは自分です。困難に立ち向かえる。
 こまってる人の助けになる。そんな自分になるために。
 そなえよつねに“ボーイスカウト”
 ボーイスカウトとは、仲間たちと自然の中で
 遊びながら、いろいろなことを身につけて、
 より良き社会人を目指す活動です。

お問い合わせ先

□ 県連ホームページタスクチームからのお知らせ

平成25年7月に開設した県連ホームページには、
 多くのアクセスをいただいております。

今後も県連行事を始め各地区・各団の活動をアップしていきますので、
 情報をお寄せください。

Facebookの情報もご覧頂き「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

◇ 県連HP <http://www.scout-miyagi.jp/>

◇ 県連Facebook ボーイスカウト宮城県連盟



検索

■ 編集後記

◇「17NSJ」の開催がせまり、
 各隊での訓練や県連での諸準備が、大
 詰めをむかえています。テーマ～能登
 のチカラ未来へ～まずは、これまで培
 ったチカラを能登で発揮しましょう。

◇次号48号は「17NSJ」特集
 を予定しています。ご期待ください。

K・S

■ 表紙写真説明

◇平成29年9月3日に県民の森で
 開催された東部地区主催行事「ビーバ
 ーランド」・「カブラリー」です。

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■発行者 理事長 和田剛和

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 佐竹孝喜

委員 鈴木美恵子 松本康男

富士原孝一 千葉有三

柿沼富雄 大沼繁雄 渋谷純

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

(宮城県多賀城分庁舎内)

TEL 022-355-6265 / FAX 022-355-6267

E-meil bs-miyagi@r6.dion.ne.jp